

第38回土木技術研究発表会を開催！

建設技術振興課

平成22年2月4日～5日の2日間、いわて県民情報交流センター（アイーナ）において、県土整備部主催、岩手県建設技術協会・（財）岩手県土木技術振興協会の共催で、平成21年度（第38回）土木技術研究発表会を開催しました。

開会にあたり、佐藤県土整備部長が挨拶を行い、「わたし自身も20代、30代のときに発表の機会があり、苦労もあったがスキルアップにもつながった。発表者にとってのスキルアップだけではなく、聴講者も発表者の追体験を通じて技術力向上に反映させて欲しい」と参加者に呼びかけました。

発表会には、県・市町村等の土木技術職員約200名が参加し、県土整備部からは道路、河川、海岸、空港など各分野における土木行政課題に対する取組みや、施工事例の紹介、新技術活用事例報告などの発表がありました。また、農林水産部、企業局、工業技術センター、北上市下水道課からもそれぞれの取組みの発表があり、合わせて17件の研究発表がありました。

また、国土院東北地方測量部の阿部次長から「基準点の標高改定とセミダイナミック補正について」と題して、現在進められている三角点標高成果の改定の概要や、GPS測量により見えてきた地殻変動の影響による測地成果の歪みとそれを補正する手法の考え方について説明をいただきました。

特別講演では、岩手大学前学長で、現在独立行政法人科学技術振興機構JSTイノベーションサテライト岩手の館長を務めておられる平山健一様から「岩手県の公共事業を考える」と題して、土木技術者や土木行政の役割について、その思いをお話いただき、我々に対し「単にモノを作るだけではなく、地域のゆたかさ、安全、産業発展につながる土木行政であって欲しい。そのためには、技術だけではなく社会学や歴史も幅広く学んで欲しい。」とのメッセージをいただきました。

講評では、建設技術振興課の菊地技術企画指導課長が、発表演題一つひとつに対してコメントしたうえで「今回の発表では、聴講者から積極的に質問が出され、たいへん感心した。本日の内容を今後の仕事に活かして欲しい」と締めくくりました。

今後とも、このような発表会などを通じて、良好な社会資本整備を担う土木技術職員の技術力向上に向けて取り組んで参ります。

佐藤県土整備部長あいさつ



発表会の様子



発表会の様子



平山健一館長の特別講演

